

石川県立武道館、石川県立武道館分館兼六園弓道場、石川県卯辰山相撲場 中期経営目標

(実施期間 令和4年度～令和8年度)

令和4年3月 策定

1 施設の設置目的

日本古来の伝統文化である武道の振興の場、武道を通して県民の生涯学習の場として設置されました。本県における武道振興の中核的拠点施設として、「競技力の向上」や「県民がより武道に親しみやすい環境づくり」を目指すことを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

県立武道館、兼六園弓道場及び卯辰山相撲場は、各種競技団体や市町の武道館と連携を図りながら、本県武道振興の中核として競技力の向上に努めるとともに、より多くの県民が武道に親しみ、安全安心に利用できる環境を提供することをその役割としています。

3 事業内容

(1) 競技力の向上

武道の競技力の向上のため、武道館協議会や競技団体と連携して、中学生と高校生を対象とした武道錬成大会や指導者研修会を実施しています。

(2) 生涯スポーツの振興

武道の普及拡大のため、自主事業として、幼児から大人までを対象に、武道の錬成を通して心身の健全な育成を図ることを目的に、柔道、剣道、弓道、なぎなたの4種目の武道教室を実施しています。

(3) 貸館事業

武道館では、柔道場、剣道場、弓道場、屋内相撲場のほか、多目的に利用できる会議室などの貸館事業を行っており、企業や町内の会合、ヨガ・絵画などの団体に利用されています。また、兼六園弓道場や卯辰山相撲場においても、施設の貸出を行っています。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・民間ノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、兼六園弓道場は平成18年度から、武道館及び卯辰山相撲場は平成20年度から指定管理者制度を導入しており、平成23年度からは、これら3施設の一体的な管理を図るため、一括して指定管理者を指定しています。

- ・施設の運営、入場料の徴収及び利用促進、施設・設備及び備品の維持管理及び修繕などの業務は指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である令和4年度から令和8年度までは、「石川県体育協会グループ」を指定管理者として指定しています。
- ・県では、指定管理者による適切な管理運営を行うため、県と指定管理者による連絡会などを随時開催し、管理業務に関する情報交換に努めています。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・近年、少子化やスポーツの多様化に伴い、柔道、剣道、相撲といった武道に取り組む子どもの数は減少傾向にあります。しかし、平成24年度から中学校の体育では武道が必修となり、身体の鍛練や精神の修練だけでなく、わが国の伝統と文化に触れる機会として、武道を通しての社会貢献・人間育成、そして、武道の魅力を伝え、武道人口を拡大していく必要があります。
- ・本県の武道の競技力・技術力向上のための中核施設として、県内の競技選手が相集い、切磋琢磨して技を磨く場を提供することは武道館の重要な役割の一つであり、競技団体との連携のもと、中学生や高校生の強化事業等について積極的な活用を促していく必要があります。
- ・武道館では、これまでも柔道・剣道・弓道・なぎなた等の武道教室や親子柔道教室などの開催等を通して武道人口の拡大に努めてきましたが、従来の枠にとらわれない多様な形の武道教室の開催や武道以外の団体による多目的な利用など、実際に武道館をご利用いただくことを通して、県民が武道に親しみやすい環境づくりを進める必要があります。
- ・武道館での大規模大会の開催時などは、利用者がスムーズに駐車できるよう隣接する施設の駐車場を開放していただいています。引き続き、利用者サービスの向上に努める必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・県の主要な武道連盟と連携し、年間を通して各団体が円滑に大会運営を行えるよう行事調整会議を行っています。
- ・施設の維持管理については、安全安心を第一に、利用者が快適に過ごせる環境を提供しているほか、照明や空調の効率的な管理による省エネルギーや節電への取り組みを実施しています。
- ・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理・運営により、管理経費の削減に努める必要があります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ① 利用者数については、5年間でコロナ禍以前と同程度の水準になるよう利用促進に努めます。
- ② 利用者アンケートによる満足度において、利用者サービス及び施設の維持・管理は95%以上を目指します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (H29～R1)	中間目標値 (R6)	最終目標値 (R8)
①利用者数		95,362人	101,000人	103,000人
②利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	91.9%	95%	95%以上
	施設の維持・管理	96.1%	95%	95%以上

※参考 R2 利用者数：44,663人

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・ 武道の普及強化の拠点となるよう、各競技団体と連携を図り、利用しやすい環境作りを目指します。
- ・ 自主事業として開催している武道教室について、近隣の小・中学校、施設等への積極的なPR活動や、各武道の見学・体験の随時受付け、体験教室の開催など、未経験者へのきっかけ作りによる武道人口の拡大に努めます。
- ・ 平成28年度に畳を全面交換した武道館柔道場、平成31年度に空調設備を整備した柔・剣道場や幽玄な雰囲気のある兼六園弓道場について、ホームページや武道館だよりの発行により積極的にPRし、学生の長期休暇期間における強化練習等での活用など一層の利用促進に努めます。
- ・ 武道館協議会や競技団体と連携して、学校の長期休業期間（春・夏・冬休み）を中心に、中学生と高校生を対象とした武道錬成大会の開催に加え、指導者を対象とした研修会を開催し、県内武道の競技力向上に努めます。
- ・ 従来行われてきた武道はもちろん、「空手道」、「合気道」、「少林寺拳法」、「銃剣道」「武術太極拳」、「ストレッチ体操教室」等についても、県民や地域住民の要望に応じて実施するとともに、会議室を地域のコミュニティ活動など武道以外の団体にも開放するなど、地域との一層の連携を通して県民が武道に親しみやすい環境づくりに努めます。

- ・ 武道関係以外の団体・企業への訪問やダイレクトメールにより、会議室の稼働率の向上に努めます。
- ・ 引き続きスタッフに対する接遇研修を行うほか、施設内に設置する「アンケートBOX」により幅広く利用者の要望を収集し、各部門責任者を中心に改善策を検討するなど、利用者サービスの向上に努めます。
- ・ 英語表記を併用した館内表示の充実を図り、外国人にとって利用しやすい施設となるよう努めていきます。
- ・ 幅広い年齢層の方々が武道館に足を運んでいただけるよう、従来からホームページ上に掲載してきた館長コラムに加えて、武道館広報誌やSNS（フェイスブック、インスタグラム、ツイッター等）を活用し、武道に関する情報の発信に努めます。
- ・ 武道教室は県民大学校の連携講座であることについても、ポスターやホームページ等を通じて広く周知し、生涯学習に励む方々に武道館を利用していただけるよう努めていきます。
- ・ 本県武道振興の中核的拠点施設としてのイメージの一層の醸成・定着を図るため、武道ライブラリーコーナーを設置し、武道館に足を運んでいただけるよう広く周知を行います。
- ・ 武道教室の時間帯以外の平日の日中については、各武道場共、利用者の少ない時間帯があるため、そうした閑散時間帯を活用し、武道専門員による指導や体験教室等を行うことで、気軽に武道に触れられる機会の提供に努めます。

【新型コロナウイルス収束後の取り組み】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の収束状況を踏まえつつ、学校から授業等で当館武道専門員の派遣要請（実技、講義等）があれば、専門性を生かし、指導に協力します。また、遠足の目的地や中継地として、当館を見学コースに組み入れてもらい、武道専門員が施設を案内、模範演技を披露します。
- ・ 公民館行事として、当館の見学をバス研修等のコースに組み入れてもらうことを各公民館に提案します（武道専門員が施設を案内、模範演技を披露）。日本の伝統文化である武道について県民の理解を深めるとともに、参加者本人やその家族が武道に取り組むきっかけになるよう努めます。
- ・ 国内外からの旅行者の来県が再び活発になってきた際には、宿泊施設とも連携し、旅行者を対象とした武道体験プランを提示・満足していただくことで、再来県による交流人口の拡大に努めます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・施設を常に快適で安全に利用していただくため、きめ細かい点検・保守・修繕作業に努めます。
- ・引き続き照明や空調の効率的な管理に努めるとともに、夜間の機械警備導入により管理経費の更なる削減に努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1) 指標(利用人数の状況)

(単位:人)

項目	H29	H30	R1	R2
利用人数(観客数を除く)	104,858	98,922	82,306	44,663
うち武道館	89,355	85,831	68,063	41,983
うち兼六園弓道場	14,853	12,471	13,623	2,680
うち卯辰山相撲場	650	620	620	0

(2) 使用許可等の状況

(単位:件)

項目	H29	H30	R1	R2
許可件数(個人、専用含む)	54,450	47,648	40,649	27,567
うち武道館	39,718	35,354	27,246	24,887
うち兼六園弓道場	14,729	12,291	13,400	2,680
うち卯辰山相撲場	3	3	3	0

(3) 使用料の収入実績

(単位:千円)

項目	H29	H30	R1	R2
使用料	12,956	12,757	11,028	7,675
うち武道館	11,060	11,047	9,144	7,278
うち兼六園弓道場	1,818	1,631	1,806	397
うち卯辰山相撲場	78	79	78	0